

6年生 キャリア教育単元計画 2022（R4）

教科	総合的な学習の時間 国語科
単元名	未来につなぐ、戸手カルタプロジェクト（単元のストーリーの中に継続して企業連携を仕組む）
関連する教科	国語科 社会科 図画工作科
単元計画の概要	<p>本校では、今年度より、新校舎での生活が始まった。同敷地内にある旧校舎は今後解体されてしまうが、感謝の思いやそれぞれの心に残る思い出を、何かの形で残したいという願いを児童が持ち、活動を展開する。</p> <p>昨年度から始めたプロジェクトであるが、コロナ禍のため、進行が困難なこともあったため、昨年度の6年生から今年度の6年生がプロジェクトを受け継ぎ、継続して活動を行っている。</p> <p>具体的には、在校生・卒業生・地域の方の思いをつなぎ、形として残すために「カルタ」を制作、販売するという企画を立て実践している。そのためにもの作りをする地域企業と連携し、もの作り・販売のノウハウを学ぶ。活動を進める中で、在校生や友達、先生、企業の方に聞いたり相談したりするといった人との関わりが増えていく。そこで、自分の考えや思いを言葉で表現することや友達の意見を聞きながら自分の考えをもつことができると考えた。</p> <p>キャリア教育の視点から、学級や学年だけでなく、地域企業との交流を通して、自分たちの考えや活動を振り返り、改善策を考えて実行できるよう考え本単元を設定した。</p>
関連企業等（連絡先）	コトブキ印刷 XXXXXXXXXX 松葉製作所
単元目標	<p>（1）旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、地域の方の思いや働くことの意味や価値、魅力に気付くことができる。</p> <p>（2）旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、自分達ができることを考えたり、改善したりすることができる。</p> <p>（3）旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、今の自分に何ができるか考え、課題設定し取り組むことができる。</p>

本質的質問

私たちが（地域の）未来に残すべきものは？

キャリア教育と総合的な学習の時間本単元で育成する資質・能力

	と・で チャレンジ&チェンジする力	つ 自己表現力	こ 自己理解力
知識及び技能			総旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、地域の方の思いや働くことの意味や価値、魅力に気付くことができる。
思考力・判断力・表現力等	<p>甲活動を振り返り、改善策を考える。</p> <p>総旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、自分達ができることを考えたり、改善したりすることができる。</p>	<p>甲自分の思いや考えを、多様な表現方法を用いて説明できる。</p> <p>総旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、自分達ができることを考えたり、改善したりすることができる。</p>	
学びに向かう力 人間性	<p>総旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、今の自分に何ができるか考え、課題設定し取り組むことができる。</p>		<p>甲自分の将来の夢や目標を持つ。</p> <p>総プロジェクトを進めるために、自分達で計画を立てて取り組むことができる。</p>

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>とで①旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、地域の人の思いや働くことの意味や価値、魅力に気付くことができている。</p>	<p>こ①旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、自分達ができることを考えたり、改善したりすることができるできている。</p>	<p>こ①旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して、今の自分に何ができるか考え、課題設定し取り組んでいる。</p> <p>②プロジェクトを進めるために、自分達で計画を立てて取り組んでいる。</p>

プロジェクト型アプローチの視点
<p>☆プロフェッショナルから学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社経営者、モノ作りのプロフェッショナルから、仕事について・モノ作りの手順・モノ作りに込める思い等、仕事の本質を学ぶ。 ・企画・運営・販売のノウハウを学び、各部署を立ち上げ、会社経営をする。 <p>☆地域と学校と自分をつなぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形としては無くなっていく旧校舎の思い出を、地域に何かの形で残す。 ・未来に向けて、自分達の地域に、自分達が残せるものは何かを考え、提案する。 ・自分達の思い、在校生の思い、卒業生の思い、地域の人をつなぎ、一つの「思い出グッズ」にする。 <p>☆本質的な問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちが（地域の）未来に残すべきものは？」に常に立ち戻り、学習活動の拡散・収束・修正を行う。 <p>☆評価の方法・タイミングの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動前」「活動中」「活動後」の三つのタイミングごとに適切な評価を取り入れることで、自己課題の明確化を図ったり活動を修正したりする。 ・自己評価、他者評価（友達相互・地域の方・指導者・企業の方）の評価を取り入れることで多面的に自己の成長を捉える。 ・適切な評価により、育成する資質能力へとアプローチする。

活動計画			
学習段階	○学習活動・支援（留意点）	評価	
		評価規準	評価手法
5 (3)	<p>★地域の人を知ろう</p> <p>○仕事について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の意義や働くことはどんなことか考えられるよう企業の方と連携する。（コトブキ印刷、松葉製作所） <p>○動画を見て、「誰に」「何を」伝えたいか明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方は、旧校舎でどんな思い出があるのか知りたいと思えるようにターゲットを絞らせる。 <p>○販売までの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状を整理して、見通しが持てるようにする。 ・資金調達、値段設定などどうやって解決していくか。 <p>○ターゲットに地域の人を知りためには。</p>	<p>知①仕事について知り、カルタプロジェクトのコンセプトを考えることができる。</p> <p>主①戸手カルタを販売する為に今の自分に何ができるか課題を設定し取り組んでいる。</p> <p>主②プロジェクトを進めるための計画を立てることができる。</p> <p>思①各部の進み具合を振り返り、活動や計画を見直して、修正することができる。</p>	<p>ノート 発言 振り返り</p>
5 (6)	<p>○読み札と取り札を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を基に地域の方も手にとってもらえるかどうか気付かせる。 ・分かりやすい絵札にするためにはどうするか考えさせる。 <p>○学年間で見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見合う視点を考えさせる。（コンセプトに合っているか、売れるか、欲しいかなど） ・他の人にもチェックしてほしいという思いを持たせる 	<p>思①アンケートを基に読み札と取り札の内容を考えることができる。</p> <p>思②アドバイスを基に読み札と取り札を再構成することができる。</p>	<p>ノート 発言 振り返り</p>

	<p>○地域の人に見てもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コトブキ印刷，松葉製作所さんに連絡できるようにする。 <p>○アイデアを基に読み札と取り札を再試行する。</p>		
2 (4)	<p>○試作品を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなものを作るのか考える。 ・どこまでのクオリティにすれば良いか考える。 ・分からないことは，聞いてみたい。 <p>○アンケートを取った人に試作品を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをもらう。 ・思いは伝わるかどうか。 ・買いたいかどうか。 	<p>思①アドバイスを基に読み札と取り札を再構成することができる。</p>	<p>ノート 発言</p>
2 (6)	<p>○販売するために具体的に動く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売のためにいる仕事は，どんなものがあるのか。 ・担当の部を決める。 <p>宣伝部：チラシ，ポスター 営業部：販売場所の設置，企画，注文用紙用意 PRキャラ部：キャラクター開発</p> <p>○担当の部で動く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っていることを全体で共有したり，考えたりできるようにする。 	<p>主①社会に出て働く人々との関わりを通して，今の自分に何ができるか課題を設定し取り組んでいる。</p> <p>主②販売に向けて，各部署で計画を立てて，進めようとしている。</p> <p>思①アドバイスを基に，各部署の活動を見直し，改善することができている。</p>	<p>ノート 振り返り 発言</p>
まとめ (2)	<p>○かるたを販売する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売担当を決めて，販売する。 <p>○振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とでつこ」を基にかるた販売を通して，考えたことや成長したことなど自分の行動を振り返る。 <p>○関わってくださった方に感謝の気持ちを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙で思いを伝えられるようにする。 	<p>知①旧校舎に関わった人や社会に出て働く人との関わりを通して，地域の人の思いや働くことの意味や価値，魅力に気付くことができている。</p>	<p>ノート 振り返り</p>

【児童の姿】

T：もっといい戸手カルタにするにはどんなことが必要か？

C：販売するためには，宣伝が必要だ。ポスターが必要かも。

C：例えば「マラソン大会」をテーマにした読み札がいくつかある。重複した物はなくした方がいい。

C：何を表しているのかわからない読み札がある。改善した方がいい。

C：絵札もわからない物がある。これも改善しないとイケない。

T：どうやって課題を改善する？

C：部署に分かれて分担した方がいいと思う。

C：読み札と絵札に分かれて検討しないとイケない。

C：説明書と箱のデザインもいると思う。



プロの方に ゲストティーチャー
G T
として来て頂き，意見を取り入れながら，検討しました。



予算編成の企画書等は各部署
ごとで分担して作成しました。

【授業者リフレクション】

成果

- ・地域の人の思いをアンケートを通して知り、地域の思いを生かしながら、カルタを作成することができた。
- ・カルタを作成、販売するために必要なことをプロの方から聞く活動を通して、「何が必要か」を自分達で主体的に考え、活動することができた。
- ・企画書や予算編成等、部署に分かれ、協力して一つの物を作り上げる過程を経験することができた。また、実社会に出た際、役立つ経験をすることができた。

☆課題 →改善点 (以下、例)

- ・実際に販売する（実際のお金がかかる）ため、予算をどのように捻出するか、明確にしておく。
⇒ 「クラウドファンディングで予算を集めればいい」といった子ども達の意見を大切にしながらも、無理なことはプロのGT等と相談し、早目に判断する。また、予算の算段を計画的、早目にしておく。